

あきらめていた細胞で
トランスフェクション実験が可能に!



初代培養細胞

幹細胞由来細胞

造血細胞

など

ViaFect™ Transfection Reagent

もう
エレクトロポレーション
には頼らない

1 困難な細胞でも 驚きの導入効率

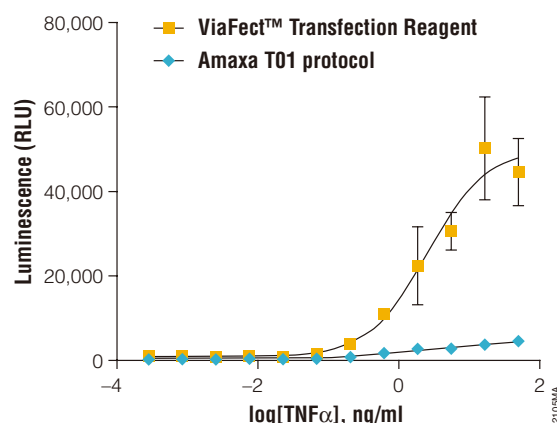
株化細胞はもちろん、導入が困難な
初代培養細胞や iPS 由来分化細胞でも OK
細胞によってはエレクトロポレーションを凌ぐ効率

2 低毒性で細胞にやさしい トランスフェクション

高い導入効率と優れた細胞生存性を両立

3 簡単なプロトコル

ViaFect™ と DNA の混合液を培地に添加するのみ、
リバーストランスフェクションも可能



エレクトロポレーションと ViaFect™ を用いたレポーターアッセイの比較: TF-1 細胞 (造血細胞モデル) に pGL4.32 [luc2P/NF-κB-RE/Hygro] Vector (NF-κB 応答配列を含むルシフェラーゼレポーター) を ViaFect™ Transfection Reagent または Amaxa Nucleofector® II (エレクトロポレーション) を用いてトランジェントにトランスフェクションした。TNFα で 6 時間 刺激した後に応答を Bio-Glo™ Luciferase Reagent を用いて測定した。

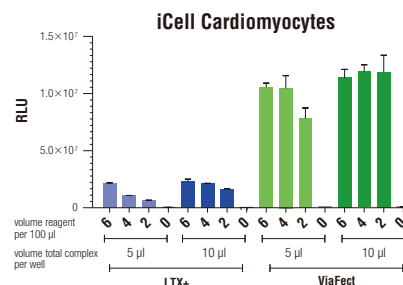
早い者
勝ち!!

お試し特別価格
¥4,500 でご提供!!

カタログ番号: E4983
0.2 ml サイズ: 24 ウェルプレートで約 133 ウェル分



※ 4 月以降順次発送いたします。
※ ご注文はお一人様につき 1 個とし、在庫が無くなり次第終了とさせていただきます。



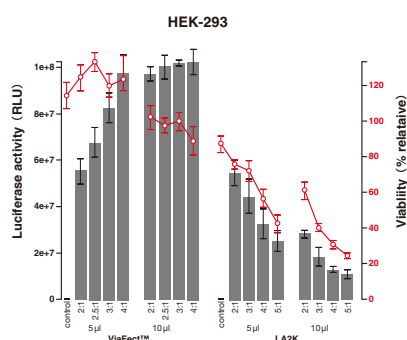
iPS 細胞由来分化細胞におけるトランスフェクション効率の比較:
iPS 細胞由来ヒト心筋細胞 (iCell cardiomyocytes) を用いた

プロメガ株式会社

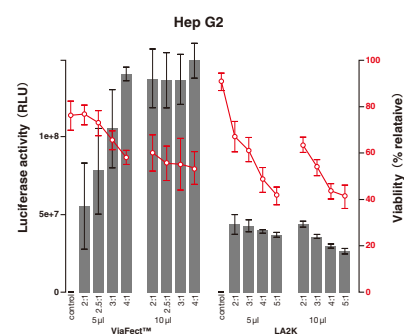
多くの細胞で驚きの導入効率&低細胞毒性

細胞株	由来	生物種	ViaFect™ Reagent		LA2K	
			トランスフェクション効率	生存性	トランスフェクション効率	生存性
HEK-293	腎臓細胞	ヒト	4	4	3	1
HeLa	子宮頸がん細胞	ヒト	4	4	3	2
MCF7	乳がん細胞	ヒト	4	4	4	3
U2OS	骨肉腫細胞	ヒト	4	4	1	3
A549	肺がん細胞	ヒト	4	4	2	3
LNCaP	前立腺がん細胞	ヒト	4	4	1	2
PC-3	前立腺がん細胞	ヒト	4	4	1	3
HCT 116	結腸腺がん細胞	ヒト	4	4	4	2
HT-29	大腸上皮細胞	ヒト	4	4	4	3
Hep G2	肝がん細胞	ヒト	4	3	1	1
Huh7	肝がん細胞	ヒト	4	3	3	2
K-562	白血病細胞	ヒト	2	4	4	4
Jurkat	白血病 T 細胞	ヒト	4	4	3	4
C2C12	筋芽細胞	マウス	4	4	1	4
RAW 264.7	マクロファージ	マウス	1	4	4	2
NIH/3T3	線維芽細胞	マウス	3	4	4	3
COS-7	腎細胞	アフリカモドリザル	4	4	4	3
CHO	卵巣細胞	チャイニーズハムスター	4	4	3	1
H9c2	心筋細胞	ラット	4	4	2	3
PC-12	褐色細胞種	ラット	4	4	4	3
平均			3.7	3.95	2.8	2.5

各種細胞株におけるトランスフェクション試薬の比較



ViaFect™ Transfection Reagent または 他社競合品 LA2K を用いて各細胞株ヘルシフェラーゼレポータープラスミドをトランスフェクションした。各メーカーの説明書に従い、96ウェルプレートの各ウェルあたり 5 μ l (DNA : 50 ng) または 10 μ l (DNA : 100 ng) のトランスフェクション複合体を添加した。一昼夜インキュベーションした後、ルシフェラーゼの発現および細胞生存性を ONE-Glo™ + Tox Luciferase Reporter and Cell Viability Assay を用いて測定した。各試薬はルシフェラーゼ活性をベースとしたトランスフェクションの相対レベル (1 = 低 ; 4 = 高) あるいは細胞生存性への影響 (1 = 低細胞生存性 ; 4 = 高細胞生存性) を指標に採点した。



製品名	サイズ	カタログ番号	価格 (¥)
ViaFect™ Transfection Reagent	0.75 ml	E4981	55,000
	2 x 0.75 ml	E4982	88,000

0.75 ml は 24 ウェルプレートで約 500 ウェル分のトランスフェクションに十分な量です。

日本語 Web site : www.promega.co.jp

テクニカルサービス • Tel. 03-3669-7980 / Fax. 03-3669-7982 • E-Mail : prometec@jp.promega.com

プロメガ株式会社

本社 〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル
Tel. 03-3669-7981 / Fax. 03-3669-7982

大阪事務所 〒532-0011
大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル704号室
Tel. 06-6390-7051 / Fax. 06-6390-7052

※製品の仕様、価格については2014年3月現在のものであり予告なしに変更することがあります。

販売店